

致理科技大學應用日語系

一〇七學年度畢業專題實務報告

## 2017 年宮崎旅遊行程設計日語競賽

—宮崎の南島スタイルツアー—

指導老師：佐伯真代

組員：10422111 張琇雯

10422119 潘沂呈

10422122 戴婉伊

10422156 林韻伶

2019 年 01 月

## 摘要

本專題以宮崎旅遊行程設計日語競賽為主題，內容分為四大部分，分別為緣起、參賽過程、賽後檢討與附錄，緣起為我們當初為何想參加這個比賽，參賽過程記錄著我們從初賽一切的準備到決賽的上台發表，過程經歷了什麼樣的困難，最後又是如何克服，賽後檢討則是反思跟他組相比我們少了什麼，並且整理出優缺點，下次面對類似的挑戰可以少走些彎路。

上台演出總是令人膽怯，但踏出了那一步，就會覺得其實沒那麼困難，透過與他校切磋，從中吸收他人的優點來補足自己的不足，希望本專題可以幫助到未來想參加類似比賽的學弟妹們，清楚的知道該往哪個方向努力，增加對於校外比賽的信心。

關鍵字：宮崎市、旅程設計比賽、校外比賽

## 要旨

本文は日本語の宮崎市観光プレゼンテーションコンテストをテーマとして、序文、コンテストの準備過程、振り返り、実施要項などをまとめたものです。序文ではコンテスト参加に興味を持ったきっかけを述べました。コンテスト準備の過程は予選から決選まで全て記しました。過程ではどんな困難を経験し、最後にどのように克服したかを述べました。振り返りはほかのチームに比べて何が足りなかったかを分析し、私たちのチームの長所と短所を記しました。今度、同じようなチャレンジの機会があれば、もっと効率よく行うことができるでしょう。

舞台でのパフォーマンスでは、いつも度胸が試されますが、勇気を持って踏み出せば、そんなに困難を感じることはありません。他校学生と野切磋琢磨を通して、他者の長所に学んで事故の不足を補います。このレポートによって将来コンテストに参加する後輩たちどのような方向で努力したらよいかを知り、コンテスト参加への自信をつけるために役立つと思います。

キーワード：宮崎市、旅行プランコンテスト、校外コンテスト

## 目錄

第一章 緣起.....	8
第二章 參賽過程.....	9
第一節 關於競賽.....	9
第二節 參賽動機.....	9
第三節 初賽備賽過程.....	10
一、行程規劃.....	10
二、簡報製作.....	11
三、初賽作品-旅遊計劃書.....	13
四、初賽作品-簡報.....	17
五、入圍決賽.....	22
第四節 決賽備賽過程.....	23
一、劇本撰寫與修改.....	23
二、道具製作.....	24
三、簡報修改.....	28
四、決賽作品-劇本.....	29
五、決賽作品-簡報.....	33
六、決賽成績.....	38
七、參賽證明.....	39
第三章 賽後檢討.....	40
第一節 優點.....	40
第二節 缺點與改善方法.....	41
第三節 後續建議.....	42
第四章 個人心得.....	43

附錄.....	47
附錄一 初賽流程.....	47
附錄二 決賽流程.....	54
附錄三 參賽照片.....	56
附錄四 組員分工表.....	58
專題報告修正要點.....	59

## 圖目錄

圖 2-3-1 鄰近景點 .....	10
圖 2-3-2 飛機 .....	12
圖 2-3-3 煙火 GIF .....	12
圖 2-3-4 辦公室圖 .....	12
圖 2-3-5 地圖 .....	12
圖 2-3-6 企劃書封面 .....	13
圖 2-3-7 封面 .....	17
圖 2-3-8 第一頁 .....	17
圖 2-3-9 第二頁 .....	18
圖 2-3-10 第三頁 .....	18
圖 2-3-11 第四頁 .....	19
圖 2-3-12 第五頁 .....	19
圖 2-3-13 第六頁 .....	20
圖 2-3-14 第七頁 .....	20
圖 2-3-15 第八頁 .....	21
圖 2-3-16 第九頁 .....	21
圖 2-4-1 名牌 .....	24
圖 2-4-2 九州鬆餅 .....	24
圖 2-4-3 釣魚用 .....	25
圖 2-4-4 御神水器 .....	25
圖 2-4-5 願い符 .....	26
圖 2-4-6 手機 .....	26
圖 2-4-7 小火車 .....	27
圖 2-4-8 祭典扇子 .....	27

圖 2-4-9 封面 .....	33
圖 2-4-10 第一頁 .....	33
圖 2-4-11 第二頁 .....	34
圖 2-4-12 第三頁 .....	34
圖 2-4-13 第四頁 .....	35
圖 2-4-14 第五頁 .....	35
圖 2-4-15 第六頁 .....	36
圖 2-4-16 第七頁 .....	36
圖 2-4-17 第八頁 .....	37
圖 2-4-18 第九頁 .....	37
圖 2-4-19 參賽證明 .....	39
圖附 1-1 決賽場地 .....	53
圖附 1-2 決賽場地 .....	53
圖附 1-3 決賽場地 .....	53
圖附 1-4 決賽場地 .....	53
圖附 1-5 決賽場地 .....	53
圖附 1-6 決賽場地 .....	53
圖附 3-1 賽前照片 .....	56
圖附 3-2 領獎照片 .....	56
圖附 3-3 賽後照片 .....	56

## 表目錄

表 2-3-1 企劃書行程表 .....	14
表 2-3-2 決賽入圍名單 .....	22
表 2-4-1 決賽成績 .....	38
表附 1-1-1 初賽報名須附資料 .....	49

## 第一章 緣起

以前看到學長姐們很積極的參加校外比賽，並且實際看過他們表演的過程，內心覺得我們也要嘗試看看，拓展自己的視野。所以當初看到系上網站公告東吳大學・日本宮崎大學旅遊行程設計日語競賽時，決定想實際應用自己在大學三年所學的日文知識和口說能力，並且希望藉由這次機會和其他學校交流切磋，了解自己與他人的差異之處並且學習他人的優點，修正自己的缺點，讓我們的日語能力更上一層樓。在佐伯老師的指導之下，我們選擇參加了這個比賽，比賽過程中遇到了許多困難，但在我們一一克服下，我們很幸運的獲得了第四名。在這個比賽的路上學習很多、得到很多，也受了很多老師及同學們的支持與幫助。比賽結束後，我們決定將我們經歷的過程及檢討做成畢業專題。

## 第二章 參賽過程

### 第一節 關於競賽

2017年，東吳大學與日本宮崎大學基於友好互惠原則共同主辦「2017年東吳大學・日本宮崎大學 旅遊行程設計日語競賽」，競賽內容為樂遊宮崎為主題，針對18歲～30歲未滿的族群，規劃一日宮崎市內旅遊行程，並全程使用日語進行表達，比賽宗旨為透過多元的競賽內容拓展國內學生的國際視野，藉由規劃旅遊行程提升旅遊企劃能力及文化素養。

### 第二節 參賽動機

大學一年級時看到學長姐去校外比賽的經驗，讓我們也想嘗試看看，增加比賽經驗並實際應用自己在大學所學的知識與能力，所以當我們看到有宮崎旅遊行程比賽的時候，就毫不猶豫參加了。比賽過程無論是初賽的企劃書還是決賽的發表皆是用日語全程表達，於是我們想要發揮大學三年來所學到的日文，不論是翻譯能力、口說能力還是語言組織的能力，能夠實際應用在比賽中，都是一件非常難得的經驗。備賽過程雖然困難重重，但在準備比賽的過程中，日文能力和團隊能力提升許多，和其他學校切磋後，除了學習到他校的優點，還能發現自己究竟有哪些不足，進而提升自己的日語能力。



## 二、簡報製作：

為了讓觀眾了解我們所介紹的景點，我們運用了大量的圖片，在景點介紹的部分，使用高解析度的風景圖放滿整個頁面，搭配劇情一一地講解地方特色並在每個場景標註名稱，最後再利用轉場動作、道具輔助來接續所有的行程，給人一種置身其境的感覺，另外，搭配劇情需要，找了相關素材像是飛機、煙火 GIF 圖、辦公室、地圖等。但因比賽的相關規定只能盡量使用官方網站上的圖片，因此能使用的圖片非常有限，再加上主辦單位非常注重智慧財產權的問題，所有從網路中搜尋來的圖片及素材必須符合上述之規範，所以在尋找圖片的過程當中遇到相當大的瓶頸。經過討論過後我們將所找到的圖片在簡報末頁附上所有圖片來源，藉由簡單的圖片、文字，更容易讓觀眾理解我們所安排的行程。雖然我們在簡報上沒有針對內容做過多的文字敘述，但我們是用口頭講述的方式對於簡報的內容加以詳述，讓簡報整體呈現乾淨又不單調的效果，進而傳達我們想要敘述的內容。



圖 2-3-2 飛機

資料來源：網路



圖 2-3-3 煙火 GIF

資料來源：網路



圖 2-3-4 辦公室

資料來源：組員自行拍攝



圖 2-3-5 地圖

資料來源：Google 地圖

### 三、初賽作品-旅遊計劃書

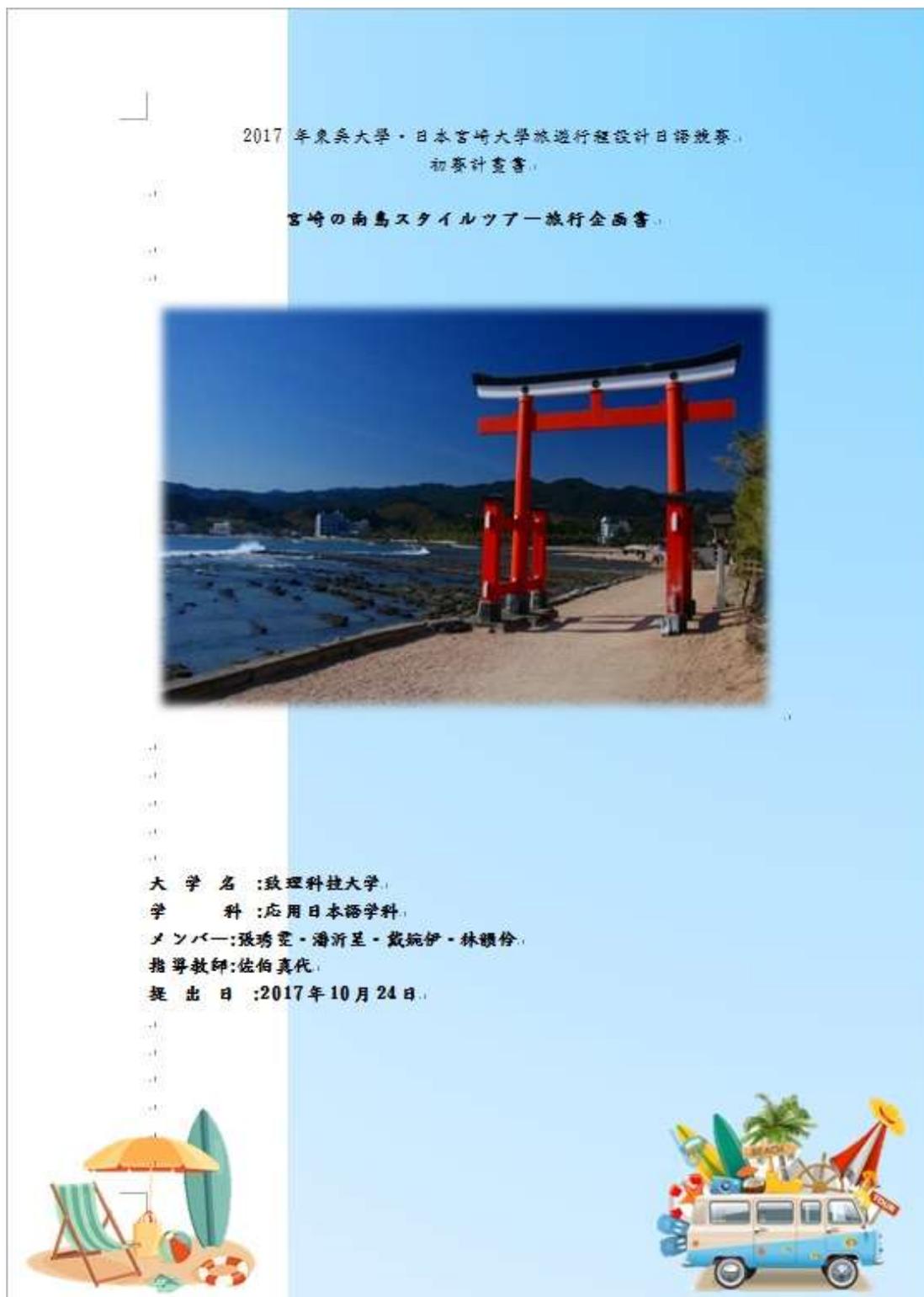


圖 2-3-6 企劃書封面

資料來源：本組作品

一、ツアー名称：宮崎の南島スタイルツアー

二、目的：職場でのストレスに息が詰まりませんか。悩みを忘れたいと思いませんか。しばらく海岸線を見ていませんか。友達とゆっくり自分らしい旅行をしたくないですか。このツアーでは、日ごろ職場のストレスに息切れしている皆さんに、自然の風景、海の魅力を体験し、心を癒す旅を楽しんでいただきます。

三、特色：大自然に親しむとともに、自然の素材を利用して、自分で記念品をつくりまます。宮崎の独特な海の景色を楽しみ、美食と文化で心を豊かにし、ハワイの風情のような日本を体験することができます。

四、：日本宮崎県宮崎市

五、対象及び人数：18歳～30歳、4人

六、時期及び日数：8月中旬、1日

七、日程： 表 2-3-1 企劃書行程表 資料來源：自行製作

時間	場所	交通	所要時間	費用/人(円)
09:00	九州パンケーキ(朝食)	徒歩	11分	1,030
10:08	宮崎駅→青島駅	JR 特急海 幸山幸	21分	1,190
10:46	青島神社	徒歩	17分	
12:00	青島ビーチ	徒歩	10分	
13:00	港あおしま(昼食)	徒歩	17分	1,700
14:00	渚のオリジナル小物作り体験	徒歩	15分	
15:00	宮交ボタニックガーデン青島	徒歩	2分	
16:00	堀切峠と鬼の洗濯板	バス・徒歩	バス：10分 徒歩：10分	バス pass(1000円)
17:00	道の駅フェニックス	徒歩	12分	
18:00	宮崎駅	バス	60分	バス pass

19:00	みやざき納涼花火大会	徒歩	27分	
20:00	おぐら瀬頭店(夕食)	徒歩	19分	1,010
21:00	宮崎観光飯店(たまゆらの湯)	徒歩	1分	1,000

※日本円換算レート:0.26, チケットは宮崎駅で購入。

#### ハ、スポット紹介：

(1)九州パンケーキ:最大の特色は原料の小麦を選んで使用していることです。すべて九州各地の新鮮な食材を使って作ったのです。天然の食材で、口当りはスポンジのようで柔らかいです。小麦の香りもして美味しいのです。

(2)JR 特急海幸山幸:列車名は、舞台とされている日本神話の海幸彦と山幸彦に由来しています。コンセプトは「木のおもちゃのようなリゾート列車」です。車体は飴肥杉が使用されています。車内はホリデースタイルです。乗務員が車内で「海幸山幸伝説」を手作りの紙芝居で紹介し、沿線の特産品であるマンゴーキ caramell、アイスクリームなど飲食物の販売を行っています。

(3)青島神社:縁結びの神社です。以前は、神の居住する場所だと見なされ、人の出入りが禁止されていました。正宮は亜熱帯の植物に包まれています。「彦火火出見命・豊玉姫命・塩筒大神」の三神をおまつりし、縁結・安産・航海・交通安全の神とします。

(4)青島ビーチ:多くのマリンスポーツを体験でき、海洋と親しめます。青い海、青い空とココナッツは、ハワイのムードです。海岸には鬼の洗濯板があります。

(5)港あおしま:宮崎市漁業協同組合によって設立されました。魚類がとても新鮮で美味しくて値段も安いです。

(6)渚のオリジナル小物作り体験:海の音を聞きながら、地元の海岸の材料を使ってユニークなアクセサリを作ります。材料は海のガラスを使って、エコかつきれいです。

(7)宮交ボタニックガーデン青島:200種5,000本を超える植物が栽培されてい

ます。1952年に国の特別天然記念物に指定されています。外苑には県木のフェニックスや県花のハマユウが植栽され、青島に自生する特別記念物「ビロウ」の群落が見られます。M型の温室も一つの特徴で、四季いろいろな花が盛んに咲いています。

**(8)堀切峠と鬼の洗濯板**：広い太平洋海岸線と鬼の洗濯板を眺めて、日南海岸の美しい景観を見渡せます。

海岸の岩は、鬼の洗濯板と呼ばれます。青島の波形岩で、砂岩と泥岩が交互に重なった地層が形成されました。まるで妖怪の使う巨大な洗濯板のようです。天然記念物に指定されています。引き潮の時、磯遊びができます。

**(9)道の駅フェニックス**：展望台を付設して、良い視野で海の景色が眺められます。特産品は、明日葉ソフトクリーム、えびソフトクリームと日向夏の食品です。

**(10)みやざき納涼花火大会**：約10000発の花火大会で、見所は最後のナイアガラです。本番前に太鼓演奏とダンスパフォーマンスを観賞できます。良い席で観覧するためには、事前に観覧席が購入できます。

**(11)おぐら瀬頭店**：チキン南蛮は宮崎の郷土料理です。この店はチキン南蛮を考案した店です。この料理はチキンにタルタルソースをかけるのが特色です。

**九、写真出典**：<https://goo.gl/7oEpPK>(表紙図)、<https://goo.gl/UUJo9i>、<https://goo.gl/zKG2yG>、<https://goo.gl/66Kbbo>、<https://goo.gl/n6MLEB>、<https://goo.gl/3dL21B>、<https://goo.gl/Y5ndWC>、<https://goo.gl/sgmRph>、<https://goo.gl/EQKMXc>、<https://goo.gl/jJjZQ6>、<https://goo.gl/zNkX5Z>、<https://goo.gl/uUYoV1>、<https://goo.gl/PgXddG>、<https://goo.gl/1N8Z2w>、<https://goo.gl/21ostp>、<https://goo.gl/MdWc6F>

#### 四、初賽作品-簡報



圖 2-3-7 封面

資料來源：本組作品



圖 2-3-8 第一頁

資料來源：本組作品

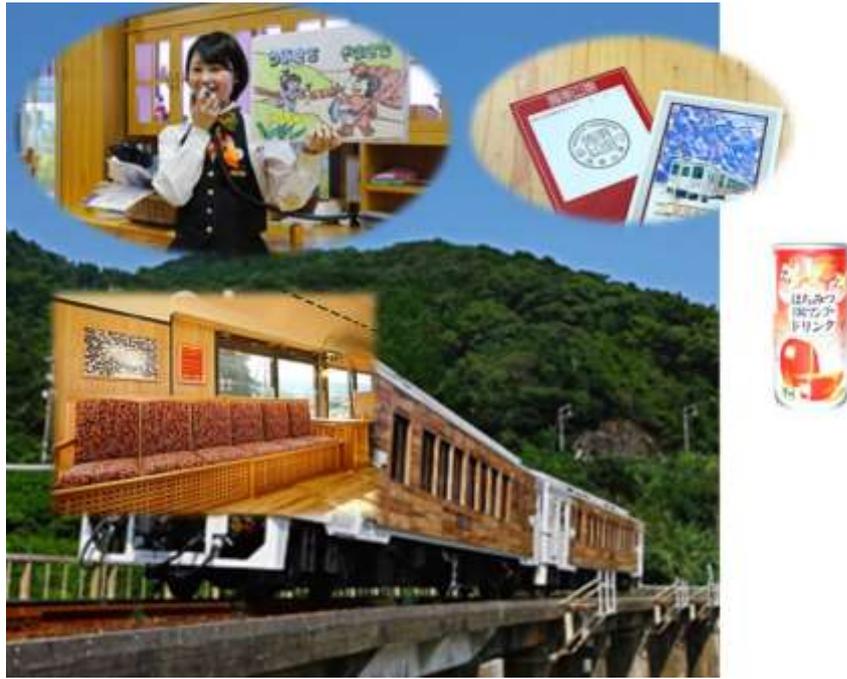


圖 2-3-9 第二頁  
資料來源：本組作品



圖 2-3-10 第三頁  
資料來源：本組作品



圖 2-3-11 第四頁

資料來源：本組作品



圖 2-3-12 第五頁

資料來源：本組作品



圖 2-3-13 第六頁  
資料來源：本組作品



圖 2-3-14 第七頁  
資料來源：本組作品



圖 2-3-15 第八頁

資料來源：本組作品

	費用/人(円)
航空券	45,123(往復)
JR	870
ホテル	4,659
九州パンケーキ	1,030
JR 特急海幸山幸	1,190
港あおしま	1,700
バス pass	1,000
おぐら瀬頭店	1,010
宮崎観光ホテル(たまゆらの湯)	1,000
渚のオリジナル小物作り体験	1,000
計	58,582

圖 2-3-16 第九頁

資料來源：本組作品

## 五、 入圍決賽：

表 2-3-2 決賽入圍名單

資料來源：東吳大學日本語學系系網

編號	參賽主題
1	宮崎市一日体験 短いけれども、確かな幸福
2	樂遊宮崎～宮崎市日帰旅行
3	宮崎の南島スタイルツアー
4	宮崎市一日旅行 ＜自然と触れ合う旅＞
5	樂遊宮崎～神話の旅
6	「樂遊宮崎」 ～アカデミックドレスで卒業旅行
7	宮崎一日旅行 コースデザイナー－昔と語り合う
8	今すぐシェアしたい フォトジェニック 宮崎

## 第四節 決賽備賽過程

### 一、 劇本撰寫與修改

由於決賽全程需以日語現場口頭演出，經過一番討論過後，我們決定選擇以導遊帶著遊客的方式來進行劇本的撰寫以及演出。在撰寫的過程當中，把中文劇本翻譯成日文劇本花了不少時間，很多時候把句子想得太複雜，常常無法跳脫中文的思考邏輯及沒有思考到日文語法的使用習慣，造成許多誤用和詞不達意並且語句使用不漂亮，而使翻譯上更加困難，再加上沒有考慮到整個演出是否能夠在有限的時間內表演完畢，導致整個劇本太過冗長，因此在指導老師的建議下修短了不少內容，才完成最終的定稿，最後把台詞背熟及數次的彩排練習，漸漸地能夠在規定的時間內表演完畢。

## 二、 道具製作

為了讓整個演出能夠更活潑生動，因此我們決定製作了一些相關道具，例如：  
劇本內出現的宮崎市相關食物、神社內相關物品、小火車...等等。



圖 2-4-1 名牌

資料來源：本組自行製作



圖 2-4-2 九州鬆餅

資料來源：九州鬆餅官網



圖 2-4-3 釣魚用

資料來源：本組自行製作



圖 2-4-4 御神水器

資料來源：本組自行製作

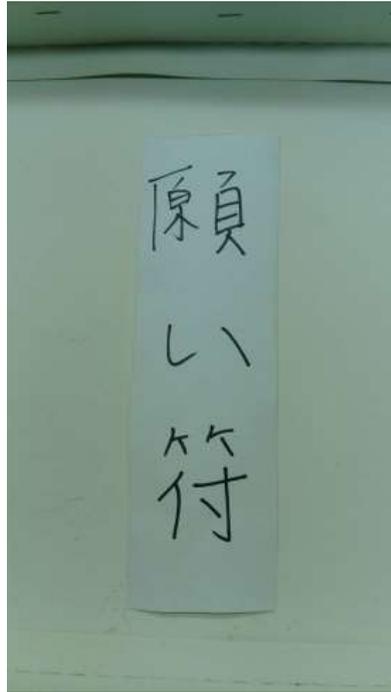


圖 2-4-5 願い符

資料來源：本組自行製作



圖 2-4-6 手機

資料來源：本組自行製作



圖 2-4-7 小火車

資料來源：本組自行製作



圖 2-4-8 祭典扇子

資料來源：系辦

### 三、 簡報修改

為了能夠讓評審及觀眾更清楚我們所介紹的地方，所以在簡報方面上更換了一些更加清楚的圖片，以及在其上方增加相關註解及地名標示，並且加以美化和將旅遊預估的資金進行修改，簡報最後一頁則是增加圖片的資料來源，遵守比賽相關規定，讓整體的簡報能夠更齊全，而不是像初賽提交的簡報一樣，用不清晰的照片和沒有相關的文字敘述，使簡報相當簡陋沒有完整畫面的呈現作用，經由修改過後，搭配我們口頭文字的敘述及肢體上的演出，更能讓評審及觀眾了解我們所想要表達的故事內容。

#### 四、 参賽作品-劇本

辦公室景

上司:この計画書何とかしてよ。これじゃ使えないよ。駄目なら、クビにするわよ！

a:ああ～また課長に叱られた。最近仕事はめっちゃ大変だね！

b:そうね、どこか南の海に行って、青い空の下で、南国ムードでのんびりしたいなあ～

a:じゃ、サリに聞いてみよう。

ab: サリ、遊びに行くならどこがいいの？

s&r:(跳出來)それなら、宮崎の青島の日旅行が一番！

ab:あれっ！君たちは誰？！！

s:私はササ！

r:私はリリ！

s&r:私たちはサリです～君たちの願いを一緒にかなえよう。じゃ、いこう～

b:うん～ここはどこ？

s:ここは九州宮崎市だよ。

a:お腹が空いたな。

r:それなら、九州パンケーキ！！

b:じゃ行こう！

s:ここは九州パンケーキカフェの本店だ。女性にすごく人気があるんだよ。

r:材料は九州産の小麦・雑穀だけを使っているんだよ。

店(s&r):いらっしやいませ～

a:うわ～どれも美味しそう～じゃ、エッグベネディクトをください。

b:私も。

s: はい、少々お待ちください。

店(s&r): パンケーキでございます。ごゆっくりお召し上がりください。

ab: いただきます

b: ふわふわ～それに小麦の風味が濃くて、美味しい！

s: それでは、心のエネルギーを回復する場所に連れて行こう。

r: その前に観光列車に乗るよ。

ab: おおお(握拳舉手)

b: わあ！この列車はまるで木のおもちゃみたい！

s: そうだよ！これは海幸山幸号という列車だ。列車の外観と内側には地元の飢肥杉が使われてリゾート感たっぷり。

r: この名前は日本神話の”山幸彦と海幸彦”から、きてるんだ。二両編成で、一両は山幸、もう一両は海幸だ。

a: 喉が渴いた。

r: あそこに宮崎マンゴードリンクを売っているよ。

車掌(r): 青島～青島～。ご乗車ありがとうございます。車内にお忘れ物をなさいませんよう、ご注意ください。

s: このはしをわたると、青島だよ。

r: さあ、この鳥居をくぐろう。

a: ここが青島神社ね。

s: ここの祭神は、山幸彦とその妻の豊玉姫で、縁結びの神様だよ。行こう。

a: なんで台のうえに白い紙を置いてあるの。

r: この玉の井で浮かべた願い符で、願いをかける。水のなかに願い符が沈むと、願いが成就するんだ。

a: どこでおみくじを引くの？

s: これ！鯛みくじだよ。鯛の中から好きなのを釣るんだ。

a: あ、釣れた！やった～！

b: おまいりの後は、海を見に行こう。

a: ここの海は、本当に真っ青だね。

ab: 一緒に写真を撮ろう。

b: わあ、たくさんの方がサーフィンをしているよ。

ab: ハワイみたい。

a: 南国ムードがたっぷり！

b: あ～おなかすいた。

r: 海に来たなら、海鮮を食べに行こう。

s: ここは港あおしまという食堂で、宮崎市の漁業協同組合が開設している。看板メニューは伊勢エビの味噌汁が付く港あおしま定食だ。

a: わあ～！新鮮！それに、安い！

ab: じゃ、いただきま～す。

s: せっかく宮崎に来たんだから、記念品を作りたいんだけど。

s: シーグラスのアクセサリーが作れますよ。

r: それに、作りながら波の音も聞こえますよ。

ab: わあ、きれい～！めっちゃかわいい～！

s: 次は植物園に行こう。(跳)

r: ここでは5,000本を超える植物を育てている。あれは青島に自生する特別天然記念物「ビロウ」だよ。世界中の亜熱帯植物がるよ。

a: なるほど～～～あれはフェニックス、あっちはガジュマルだね。

s: そろそろ、次の場所に行こう。

s: ここは堀切峠だ。

ab: わあ、きれい。

r: ここから綺麗な日南海岸が見えるよ。あの波みたいな岩は、鬼の洗濯板だよ。

a: まるで妖怪の使う巨大な洗濯板みたい。

b:暑いな、アイス食べたい。

s:じゃ、道の駅フェニックスに行こう。

a:わあ、海老アイス！この、明日葉と日向夏もアイスなの。

s:明日葉は高血圧を予防するんだよ。日向夏はみかんの一種で、宮崎県の特別な果物だ。

s:だんだん暗くなってきた。

b:今晚はまさか？！

s:そうだよ、日本の夏と言えば花火！今晚は、みやざき納涼花火大会！

ab:わあ。

r:今日は約一万発を打ち上げるよ。

a:ああ～またお腹空いた。

s:晩ご飯は宮崎の郷土料理、チキン南蛮だよ。

r: この店はチキン南蛮を初めて考案したんだ。

ab:いただきます。

b:タルタルソースが、たまらないね。

s:最後は温泉に入ろう。この温泉に入ると、お肌がすべすべになるよ。

a:せっかくだから、リラックスしよう。

b:ああ～ストレス解消！

ab:今日は楽しかった！最高！

s&r:それでは、我々は任務完了だ。さよなら！

ab:さよなら～

n:こちらは私たちの旅行の旅費です。

ご清聴ありがとうございました

五、 決賽作品-簡報



圖 2-4-9 封面  
資料來源：本組作品



圖 2-4-10 第一頁  
資料來源：本組作品



圖 2-4-11 第二頁

資料來源：本組作品



圖 2-4-12 第三頁

資料來源：本組作品



圖 2-4-13 第四頁

資料來源：本組作品



圖 2-4-14 第五頁

資料來源：本組作品



圖 2-4-15 第六頁

資料來源：本組作品



圖 2-4-16 第七頁

資料來源：本組作品



圖 2-4-17 第八頁

資料來源：本組作品

ご清聴ありがとうございました

圖 2-4-18 第九頁

資料來源：本組作品

## 六、 決賽成績

表 2-4-1 決賽成績

資料來源：東吳大學日本語學系系網

名次	學校名稱	演講題目
1	世新大學	今すぐシェアしたい フォトジェニック 宮崎
2	台中科技大學	「樂遊宮崎」 ～アカデミックドレスで卒業旅行
3	致理科技大學	宮崎市一日体験 短いけれども、確かな幸福
4	致理科技大學	宮崎の南島スタイルツアー
5	靜宜大學	宮崎市一日旅行 ＜自然と触れ合う旅＞
6	東吳大學	宮崎一日旅行 コースデザイナーー昔と語り合う
7	東吳大學	～神話の世界～ 宮崎市にいきましょう
8	銘傳大學	樂遊宮崎～神話の旅

七、 參賽證明

圖 2-4-19 參賽證明

資料來源：自行掃描



## 第三章 賽後檢討

### 第一節 優點

根據當天與其他隊伍的比較後，我們總結出了三個優點。

第一點：景點的選擇。宮崎市擁有豐富的歷史文化，我們認為會有很多以歷史為背景的旅程當作主題的組別，這樣就很容易出現景點重複的問題，景點一旦重複容易被相互比較，為了避免主題重複性太高，我們選擇以大自然為主題，宮崎市剛好是靠海的城市，所以我們最後選擇走海線的旅程，景點除了最著名的青島神社以外，我們安排的其他景點與他組做出區別性，建立與他組不同的風格樣貌，進而提升獨特性。除此之外我們選擇的景點因為都鄰近海邊，彼此距離都非常接近，讓我們的行程安排對於主辦單位的一日行程規定中相較於其他組的可行性相對高上許多。

第二點：季節性活動。為了使這趟旅程增加豐富性及多樣化，尋找是否有當地限定的活動，或者是可以與當地人有互動的行程，為此能留下深刻印象，最後在網路上我們找到8月中旬有一場煙火大會，許多人想到日本就會聯想到日本夏日文化獨具特色的煙火大會，因此找到這個活動時，就覺得真是太有代表性了，也因為這項活動，我們決定將出發時間訂在8月。

第三點：手做DIY行程。在一日行程當中，因為我們選擇了許多關於戶外的行程，因此在安排行程時就有考慮到如果都是戶外行程，那麼就體力而言似乎有些吃緊，而且季節又是在夏天，其實並不太適合長時間待在戶外行動，所以我們上網搜尋了相關室內活動，找到了飾品配件DIY製作，並且飾品配件的製作又和當地有密不可分的關係，透過DIY製作能和當地人交流，讓這場旅程的獨創性、與當地交流、娛樂性及可行性大大提升了不少。

第四點：道具。比起呆板的簡報報告，配合道具演出比較能讓觀眾融入我們的劇本中，為了讓評審與觀眾們了解我們正在做了什麼，做了大量的道具，透過活潑生動的發表，讓報告也容易有記憶點，知道現在講到哪裡，報告中也不會不曉得手該放哪裡，導致整個人過於僵硬。

## 第二節 缺點與改善方法

比賽結束經過討論後統整出我們的缺點，並提出改善方法

第一點：景點介紹不夠深入。由於時間限制的關係，加上我們將行程設計的有些緊湊，因此忽略了詳細介紹文化方面的資訊，只有簡單的做說明，導致景點的部分顯得過於單薄。若是能加入更多歷史文化的相關解說，定能在介紹景點的時候使內容更為豐富，才不會顯得單調無趣，再加上生動的表演方式，整個呈現的效果，將會比原本的呈現方式來的更加有趣，進而加分許多。

第二點：問答應對準備不足。準備問答題目時將想法思考的太過複雜，總是想著評審會問一些刁鑽的題目，殊不知並沒有這麼困難，應該要將問題想得更加全面，除了簡報上可能被提及的問題外，要更為深入去延伸思考相關問題，而不是只準備單方面的問題。在回答時過於緊張，一緊張什麼就都聽不清楚，導致回答題目時無法及時反應過來或是變成答非所問的情況，因此要多訓練口說能力，讓自己勇於開口說日文，還有訓練台風以增加自我的膽量，讓自己在不熟悉的環境下依舊可以順利的進行對話，最重要的是要保持平常心，不要過於緊張，盡量將心情放鬆，便可以比較清楚理解評審所問的題目。

第三點：練習時間不足。當我們看到這個比賽時，距離繳交初賽企劃書的時間已經所剩不多，導致後續的練習時間，不太足夠，而在比賽過後，從中我們發現與其他參賽組別相比音調發音的部分有待加強，因賽前練習時間有些緊湊，所以對於音調的部分就沒有特別去注意到，若是能將簡報及行程企劃書提早完成，多留一些時間來進行賽前練習，就可以多花一些時間在音調發音的練習上，在正式發表時，會更為完美，因此在做簡報的時候，對於時間規劃及工作分配上需要再多加注意。

### 第三節 後續建議

統整優缺點與改善方法和觀看他組表現後，我們列出以下幾點建議。

第一點：景點與季節結合。常常會聽到有人說春天賞櫻、秋天賞楓這些永遠熱度不退的旅程，正是因為這樣的景色只有在這個時間及地方才有，因此很多人趨之若鶩，旅行時除了參觀當地的名勝古蹟之外，再來最具特色的就是因季節變化所帶來的美景，也可以加入季節限定的活動、美食等等，一旦只要打上限定兩字，就會顯得不過去參加、嚐過會對不起自己似的，彷彿白來一趟，為旅程增添豐富性，在回憶中畫上濃厚的色彩，並且設定明確的時間點，才證明此趟旅程是可以被實現的，而非憑空想像，時間與地點做結合，更有真實感提升可行性。

第二點：主題創新。當地的主要特色是一定要介紹，但不適合做為主題，因為最廣為人知的早已被很多人研究個透徹，並且也很容易與他組被做比較，為了在眾多挑戰者中殺出重圍，設計行程前可以先思考目標客群是誰，越詳細越好，如果是以自己作為出發點，那再來就是想我們想要得到什麼。如果是針對某些客層，那麼這趟旅行的目的是什麼，想要達成這個目的需要做到哪些，有沒有資源可以達成目標，這些都是可以成為訂定主題想法的來源，最簡單的是從另一個角度看這個城市，挖掘出不一樣的面貌，讓人耳目一新，而不再是同一套想法。

第三點：習慣舞台。上台難免都會緊張，害怕要是等一下出錯怎麼辦，出了錯這段時間的辛苦就白費，也會很對不起組員們與老師，但是想這麼多反而陷了死循環，或許原本沒這麼糟糕，就因對自己的不自信而搞砸，因此首先要把這些想法通通拋到腦外，平常演練時就可以在朋友面前，或是在全班面前進行表演，若是想要更進一步練習的話，也可以去詢問老師們是否有班級願意給自己機會表演，一點一點的習慣群眾的目光，緊張是會慢慢消除的，當你不再害怕時，就會發現原來做過這麼多努力。也能趁這個機會收穫一些他人的意見，再評估目前的狀況如何能調整得更好，投入在自己的表演中是最重要的，如果自己都對自己的作品沒有信心，怎麼能期待別人給你好的回覆。

## 第四章 個人心得

日四 A 潘沂呈

當初發現這個比賽的時候距離初賽交件時間只剩兩個禮拜，跟夥伴討論了一下就決定參加，剛開始找資料沒把簡章看清楚，以為範圍是宮崎縣，還好有即時發現沒有費太多白工，這次的比賽只有一天的行程，很猶豫要放哪些景點，都覺得這個有特色那個有參觀價值，跟老師討論過後，才終於訂下一個主題，有了主題就很快地敲定行程。準備簡報的時候碰上了使用店家的照片會不會侵犯到智慧財產權的問題，簡章只有寫可以使用宮崎市網站的資料，其他的並沒有多加描述，經過討論後決定把來源寫在計畫書裡面，簡報的最後也附上，多寫至少不會多錯。

得知進了決賽真的很驚訝，原本已經做好了只是來吸收經驗值的打算，準備決賽這段時間是最辛苦的時候，要把中文劇本翻成日文吃了不少苦頭，總是把句子想的太困難，其實用很簡單的文法就可以表達出意思，要跳脫中文的意識，看了老師批改過的地方總是恍然大悟，第一版劇本太過冗長，老師擔心會超過發表時間，大幅修改後二版劇本簡短不少，經過練習發現時間會剛剛好，甚至後來由於台詞都熟記於心，說太快還會低於要求時間。老師為了糾正我們的發音，除了現場糾正外，老師親自念一遍稿子讓大家錄下來，以免有問題的時候老師卻抽不出時間來聽的時候可以使用。

這場比賽還有一個令我們很擔心的地方，就是5分鐘的問答，雖然有設想過問題，但實際上問題並不難，可能是我們是第一組的關係，評審們也沒有提太刁鑽的，經過問答這個環節，我們的聽與說相當不夠，一緊張就聽不清楚問了什麼，就算大概知道問了什麼也組織不出語言，緊張是我們最大的問題。

多出去比賽累積經驗真的比較好，一方面磨練自己的心態與台風，一方面增加對日文的熟練度，翻譯與發音對當時的我們是一大挑戰，空閒時間都抱著劇本在背，就怕到了當天沒有背起來，很感謝老師願意擔任我們的指導老師，在時間不多的情況下給了我們很多的幫助，可以拿到名次很大的功勞都是老師。

日四 A 張琇雯

宮崎市旅遊規劃是我在大學期間，第一個參加的比賽，一開始只是對行程規劃有興趣，於是就和同學組隊去參加比賽，從沒想過可以得到第四名的成績，心情真的是又驚又喜。

在還沒參加這個比賽之前，對於宮崎市的資訊都一無所知，所以我們花了很多時間去做功課，也很感謝老師提供一些宮崎市的資訊，讓我們事前準備更事半功倍，因為在行程規劃時，需要注意的細節有很多，像是主題性及實際執行性等等，所以我們在討論時，彼此都有不同的意見與想法，每個人都有想介紹的景點，但為了符合主題性及實際性，因此光是行程內容就修改了好幾次，經過不斷的溝通討論，好不容易才將一份行程企劃完成，當我們得知進入決賽時，真的是很開心，於是我們開始編寫劇本，因為有時間的限制，再加上必須用日文做發表，所以我們的劇本已經不知反覆多少次做修改，如何在有效時間內用最精簡的方式向他人傳達，或許這就是我們所要學習的課題，也很感謝老師的幫助，不管是在劇本上給建議或是訓練台風、日文咬字、情緒的表達等等，在這個環節我們費了很多心思，也學習到很多。

決賽當日，我們都超級緊張，而且好死不死又剛好是第一組，當時的心情真的是難以言喻，但當一站上舞台的那一刻，所有顧慮都已拋諸腦後，順利的完成發表，我想這就是我們平時勤奮努力練習的結果，不管結果好壞，至少我們不愧對自己的心，而我也深刻了解到什麼叫做人外有人，天外有天，看到來自各個學校的參賽組別，不論是在日文表達上或是簡報方面，我都還有許多需要進步的地方，學習他人的優點，補足自身的缺點，我想這才是最重要的。

很高興可以參加此次的比賽，體驗到了以往在課堂上從不會有的經驗，在這過程中，我也學習到如何與他人表達自我意見、傾聽他人看法，彼此互相切磋學習，而每件事都不可能一帆風順，雖然我們此次得了第四名，但成功的背後，是經過許多爭執與磨合的辛苦結晶，唯有彼此互相分工合作、願意一起努力練習，才有辦法完成，而得到很棒的收穫。

日四 A 林韻伶

最初看到有這個比賽的時候，就想起大一時看到學姐們去校外比賽，也是比旅遊行程規劃的比賽，當時看到學姐們在台上用日文配合動作、道具，完美地完成一項演出，我覺得學姐們非常厲害，也很勇敢，也覺得有點羨慕。內心也有計畫等到日文覺得夠好時也要參加比賽，但即使我到二年級才發覺自己沒有像像中那麼有能力跟勇氣，一直拖到三年級，我看到東吳大學・日本宮崎大學旅遊行程設計日語競賽時，非常想參加但又有點退卻，但朋友卻說這時候不參加要等到什麼時候，所以我們決定參加了，而我也想試試自己這三年來所學的日文到底程度到哪裡。

從決定參加到初賽的企劃書截止日期，事實上我們時間不多，每一天和組員們都在網路上開著通話一直討論到深夜，主題的決定、行程安排．．．等。這些都讓我們絞盡腦汁去規劃，雖然那時候每天都很累，但卻非常充實。過程中很感謝佐伯老師一直在幫助我們，給我們很多資料和建議。

到公布決賽名單的那天，我們每一個人都很緊張，但看到我們的隊名出現的那一刻，有種之前的努力都值得的感覺。之後就是準備決賽了，比初賽更辛苦，我們要準備劇本、動作及道具，在準備的過程中其實遇到很多困難。在密集排練之下，我們都一一克服了。其中我們受到許多幫助，有同學們也有老師們，真的非常感謝他們。

到決賽當天，我們意外的抽到第一組上場，上場前我們又排練好幾次，我緊張到不敢吃午餐，就怕當下忘了詞、忘了動作。一切準備後我們上場了，過程很順利，但在最後五分鐘的問答我們整個措手不及，事前準備的問答都沒問到，讓我們很緊張不知道該怎麼辦才好，就在台上支支吾吾五分鐘後我們下了台，我和組員們都很難過。到了公布成績時，我們獲得第四名，我們真的很開心。

這次比賽讓我學習到很多，不單單是日文能力，在團隊合作的能力上也上升許多，並且和其他學校切磋後，更讓我明白自己不足的地方在哪裡，如果沒有參加這個比賽或許我對於自己能力的認知上還是有很大的落差，這讓我更認識了自己，能參加這場比賽真是太好了。

日四 A 戴婉伊

當時知道有舉辦這個比賽的時候，本來還很猶豫要不要問身旁的朋友們要不要一起挑戰看看，結果後來朋友們也都有同樣的想法，所以大家就抱持著挑戰看看的心情去參加比賽，不過因為距離初賽的截稿日期所剩不多，所以在有限的時間內把宮崎市的相關資料查過並整理成一份行程企劃書，費了不少工夫。

在準備初賽的過程中，因為景點實在太多了，而且我們一開始對宮崎市沒有太多的了解，再加上要考慮到配合實際的時間、交通、住所等等的問題，所以光是安排行程就花費了好多時間，詢問過老師的意見後，老師建議我們訂一個主題性的行程，讓彼此都有不同意見的我們，瞬間有了一些共識。

當得知順利進入決賽後，我們是又驚又喜，因為知道另一項挑戰來了，就是上台發表，一開始在編劇的時候沒有考慮到有時間限制的問題，所以劇本編的太長，完全超過時間，老師就建議我們把劇本徹底的修短，好讓我們能夠在時間內順利表演完畢，而我們為了讓表演更活潑生動，也決定製作了一些相關道具來輔助。在練習的過程中，老師來看我們好多次，中間也給了好多建議，像是日文的咬字、發音、動作、台風等等，也提點了我們問答環節的部分，最後也幫我們錄製了一段音檔好讓我們各自回家的時候可以自己練習，很謝謝老師的協助，讓我們能在正式發表前有了很完整的練習。

到了決賽當天，比賽順序是用抽籤的方式來決定，我們萬萬沒有想到的是，竟然抽到了第一組，已經很緊張的我們因為這個順序更加的緊張了，當表演完畢後緊接著就是問答的部分了，因為過於緊張，所以我們有部分問題都聽不太清楚，加上也一時不曉得如何回答，所以這部分算是有點失敗，不過也因為有了上場比賽的經驗，讓我們知道在這方面還有很大的進步空間。

我覺得自己很慶幸有參與這場比賽，讓我有上台發表的經驗，以及團隊合作的寶貴經驗，很感謝老師願意當我們的指導老師，有很大的功勞都是老師從中的協助，也很感謝各位夥伴們，因為我們的努力與合作，才能有這樣的成績，這將是我大學生涯裡面最難忘的回憶之一。

# 附錄

## 附錄一 初賽流程

2017 年東吳大學・日本宮崎大

學旅遊行程設計日語競賽計畫書

### 一、競賽宗旨

(一)東吳大學與日本宮崎大學基於友好互惠原則，共同主辦「2017年東吳大學・日本宮崎大學 旅遊行程設計日語競賽」。

(二)透過多元的競賽內容拓展國內學生的國際視野，藉由規劃旅遊行程提升學生的旅遊企畫能力與文化素養。

二、主辦單位：東吳大學 日本宮崎大學

三、承辦單位：東吳大學日本語文學系

四、協辦單位：宮崎市役所觀光戰略課、宮崎市觀光協會

五、指導單位：觀光交流研究會

### 六、參加對象

(一)凡具有中華民國國民身份，目前就讀教育部立案之大專校院在學學生，且在日本居留未超過1年者均可組隊報名。

(二)參賽隊伍須為同一學校學生，不得跨校組隊。同一學校以5組為限，並須經科、系(中心)主任推薦。

### 七、競賽內容

(一)競賽內容：

1. 以「樂遊宮崎」為主題，對象為18歲~30歲未滿年輕族群，規劃一

日小團體(5人以內)旅遊宮崎市市內行程。

2. 通過第一階段書面審核者通知參加第二階段競賽，競賽全程需以日語表達。

3. 競賽相關資料與素材請至以下網站查詢

(1)東吳大學日文系首頁網站：<http://www.scu.edu.tw/japanese/>

(2)日本宮崎市觀光情報網站：<http://www.miyazaki-city.tourism.or.jp/>

## (二)競賽規定

1. 初賽與決賽隊伍成員及主題不可變更。

2. 尊重智慧財產權，作品不得抄襲；如經查證屬實，承辦單位有權取消參賽或獲獎資格。參賽隊務必繳交「切結書」(附件一)。

3. 宮崎大學及宮崎市役所觀光戰略課、宮崎市觀光協會提供決賽第一名隊伍(包含指導老師，最多補助 5人)以「樂遊宮崎俱樂部 2018友好大使」的名義，前往宮崎市進行 4天3夜之旅遊交流活動。(內容含：來回機票、住宿費用；旅行意外險自理。)第一名隊伍無法成行時，旅遊費用不得要求折算為現金，並由第二名隊伍依序遞補。

4. 赴日交流隊伍需簽署「赴日友好交流活動同意書(附件三)」，拒絕簽署視同放棄。

5. 赴日友好交流活動預計 2018年2月21日(三)-24日(六)舉行，若有變更將於一個月前告知。

6. 宮崎市役所觀光戰略課提供本競賽團體第二~六名具宮崎市特色之紀念品。

7. 優勝隊隊員在赴日交流訪問後 1個月內，需個別以中文及日文向東吳

大學及宮崎大學提交交流心得報告；並於 SNS發送宮崎市之旅的訊息。  
另選出宮崎市役所「樂遊宮崎俱樂部」之「特別會員」，應邀出席宮  
崎市役所「樂遊宮崎俱樂部」在台灣的觀光宣傳等活動。

## 八、競賽辦法

### (一)初賽

#### 1. 郵寄並傳送資料電子檔書面資料：

(1)郵寄及傳送期間：2017年10月4日(三)~2017年10月24日

(二)17:00截止。

(2)請於郵寄期間(郵戳為憑，逾期不受理)，寄送以下報名表件：

表附1-1初賽報名須附資料 資料來源：比賽簡介

序號	內 容	備註
1	切結書	附件一(書面)
2	赴日友好交流活動同意書	附件二(書面)
3	競賽報名表	附件三(書面)
4	企劃書及 PPT原稿	書面及電子檔

郵寄地址：111台北市士林區臨溪路70號 東吳大學日本語文

學系 郭華修秘書E-mail :hua666@scu. edu. tw

2. 參賽人數：以 2~4人為一組。

3. 評分：以書面資料內容評定。

a. PPT原稿(10張以內…含封面)

b. 企劃書(A4•2張以內。字型 12大小)

4. 評審：由主辦單位邀請具日語專長之學者專家 3~5人及在宮崎從

事觀光業者 3人與宮崎大學的老師和學生 7名左右擔任評審。

6.主辦單位收到報名資料後，將以電子郵件回覆；並將參賽隊伍公布於本校網頁。初賽預計錄取 8~12組進入決賽。

7.評選通知：晉級決賽的隊伍，將以電子郵件通知，並預定於 2017年10月30日

(一)前公告於本校網頁。

## (二)決賽

1.決賽日期：2017年11月18日(六)

2.決賽地點：東吳大學第一教研大樓一樓普仁講堂(111臺北市士林區臨溪路 70號)

3.參賽人數以 2~4人為一組且必須與初賽隊員相同，不可變更。

4.決賽全程以日語現場口頭演出。

5.決賽內容必須與初賽內容相符，不可變更主題。

6.演出時間：發表 8分鐘及提問 5分鐘

(演出時間達 6分鐘不扣分。不足與超過者扣時間成績總分 3分。)

7.評分項目：

- 地域性
- 獨創性
- 與當地交流
- 娛樂性
- 可行性

8.決賽評審：由主辦單位邀請具有日語專長之學者，宮崎市代表處

人員、旅遊相關之專業人士等 15名左右擔任。

#### 九、獎勵辦法

第1名 獎狀乙幀與前往宮崎市4天3夜友好交流活動

第2名 獎狀乙幀與新台幣5000元圖書禮券+宮崎特產品

第3名 獎狀乙幀與新台幣3000元圖書禮券+宮崎特產品

第4名~6名獎狀乙幀+宮崎特產品

#### 十、注意事項

(一)參賽者須詳實填寫報名資料，不得冒名或違反參賽資格，經查證屬實，主辦單位將取消比賽資格。若領取獎金、獎狀，主辦單位得予追回，並發函通知就讀學校。

(二)為求評分之公正性，決賽參賽者不得穿著校服、系服，並不得於上台時報校名；演出過程中不可交付評審任何影響評分之物件，違反者得予取消其比賽資格。

(三)決賽參賽者可自行攜帶道具，製造音效效果(例如：風聲、雨聲、汽車煞車聲、喇叭聲)，亦可使用事先錄製好之音效，日語台詞演出(唱)部分，不得以對嘴方式預錄播出。

(四)非自製音效或非自編音樂者，應聲明配樂來源暨創用 CC 版權授權狀況。

(五)參賽同學請在當日報到時間前抵達比賽場地，報到時請出示學生證供查對。交通方式請參看東吳大學網頁。

(六)決賽當日交通、食宿費用由參賽隊伍自行負擔。

(七)著作權約定

1. 參賽者同意作品於活動評選期間能無限次播放及使用。

2. 請尊重智慧財產權，參賽者投稿以原創之著作為限，並不得使用有違善良風俗或攻擊性之用語，授權人聲明並保證授權使用之著作，並無侵害他人智慧財產權、隱私權及其他權利，如有侵害第三人之權利或涉及抄襲之情事，經證實確有該等情事，主辦單位得取消參賽或得獎資格，並予追回獎金，得獎者不得異議。
3. 參賽作品若有抵觸任何有關著作權之法令，一切法律責任由參賽者承擔，主辦單位概不負責。
4. 參賽者瞭解並同意參賽作品之著作財產權無條件無償轉讓與主辦單位宣傳及使用。同意無償、非專屬授權主辦單位公開以下項目：a. 比賽現場錄影、b. 錄音檔、c. 照片，並得將其製作成視聽著作（影片）與數位形式檔案，提供教學、研究與公共服務用途之資源平台公開播送，提供非營利性質之使用。主辦單位並得利用參賽作品於國內外重製、散布、改作、公開傳輸、公開播送及公開上映，並應配合主辦單位要求簽署授權同意書及遵守授權同意書所載所有內容，倘無法配合視為放棄得獎資格，絕無異議。

(八)本辦法若有未盡事宜，得適時修正補充，並於比賽前公開說明。

十一、場地與設備:決賽場地設備附有筆電、簡報筆(含遙控器)、擴大機、喇叭、無線麥克風 4 支。



圖附 1-1 決賽場地  
資料來源：比賽簡介



圖附 1-2 決賽場地  
資料來源：比賽簡介



圖附 1-3 決賽場地  
資料來源：比賽簡介



圖附 1-4 決賽場地  
資料來源：比賽簡介



圖附 1-5 決賽場地  
資料來源：比賽簡介



圖附 1-6 決賽場地  
資料來源：比賽簡介

## 附錄二 決賽流程

# 2017 年東吳大學・日本宮崎大學 旅遊行程設計日語競賽

### 決 賽 方 式 說 明

一、出場順序：賽前說明會時抽籤決定出場順序，依序出賽。

二、比賽方式：每組演出時間 8 分鐘為原則，達 6 分鐘不扣分，不足與超過時間者扣總成績 3 分。演出完畢後，隨即由評審委員就演出內容發問。

三、計時方式：每組開始講話或表演動作即開始計時，7 分鐘響鈴 1 次，8 分鐘響鈴 2 次，8 分半鐘響鈴 3 次。問答 4 分鐘響鈴 1 次，問答 5 分鐘響鈴 2 次。

四、評分方式：1. ①初賽結果 20%、

②決賽 80%（決賽 80%內比率如下…

• 內容50%

    評分項目：地域性・獨創性・與當地交流・娛樂性・可行性

• 表達能力10%

• 問答 10%

• 其他 10%。)

2. 演出時間達 6 分鐘不扣分，不足或超過時間者者，扣成績 3 分。

五、注意事項：

1. 參賽人數以2~4人為一組且必須與初賽隊員相同，不可變更。

2. 決賽全程以日語現場口頭演出。
3. 決賽內容PPT可以於演出時間內增加頁數，但必須與初賽內容相符，不可變更主題。
4. 為求評分之公正性，決賽參賽者不得穿著校服、系服，並不得於上台時報校名；演出過程中不可交付評審任何影響評分之物件，違反者得予取消其比賽資格。
5. 決賽參賽者可自行攜帶道具，製造音效效果(例如：風聲、雨聲、汽車煞車聲、喇叭聲)，亦可使用事先錄製好之音效，日語台詞演出(唱)部分，不得以對嘴方式預錄播出。
6. 非自製音效或非自編音樂者，應聲明配樂來源暨創用 CC 版權授權狀況。
7. 參賽同學請在當日報到時間前抵達比賽場地，報到時請出示學生證供查對。
8. 決賽當日交通、住宿費用由參賽隊伍自行負擔。如有需代訂便當者，請事先通知葷素數量，並請於報到時於報到處繳交便當費用(1個 90 元)。

六、獎勵方式：第1名獎狀乙幀與前往宮崎市4天3夜友好交流活動

第2名獎狀乙幀與新台幣5000元圖書禮券+宮崎特產品

第3名獎狀乙幀與新台幣3000元圖書禮券+宮崎特產品

第4名~6名 獎狀乙幀+宮崎特產品

### 附錄三 參賽照片



圖附 3-1 賽前照片

資料來源：組員自行拍攝



圖附 3-2 領獎照片

資料來源：老師拍攝



圖附 3-3 賽後合照  
資料來源：朋友拍攝

#### 附錄四 組員分工表

組員名稱	工作內容
張琇雯	PPT 製作、講稿翻譯(比賽說明、參賽動機)、影片剪輯、海報設計
戴婉伊	PPT 製作、講稿翻譯(準備過程初賽)、影片剪輯、海報設計
潘沂呈	PPT 製作、講稿翻譯(優缺點建議、心得)、影片剪輯、海報設計
林韻伶	PPT 製作、講稿翻譯(準備過程決賽)、影片剪輯、海報設計

## 專題報告修正要點

### 評審老師建議

建議多增加與季節有關或是親子行程，還有溫泉相關的在地景點。

### 修正要點

1. 字體大小
2. 統一目錄編排
3. 第 37 頁的圖 2-4-18 少資料來源，將他補上。